

Apr. 18th, 2025

主催：(公社)日本技術士会 化学物質管理研究会(MOCS 研)

共催：(一社)化学物質管理士協会(Pro-MOCS)

協力：近畿本部化学部会

2025 年度 化学物質管理研究会総会記念講演会のご案内

日本技術士会に化学物質管理を専門分野とする MOCS 研が設立されて10年、認定資格試験機関としてプロを世に出す Pro-MOCS 設立8年となります。一体運営(会計を除く)も2年が経過しました。そこで、今回は、お互いの総会を自由参加とします。あわせて、総会記念講演を合同開催とします。

会場出席(定員 18 名)とテレワーク(TW)式を併用しての開催です。事前資料の配布や招待メールは、参加申込者にお知らせします。なお、参加費の振込口座は近畿支部指定口座をお願いします。

- 日 時：2025(令和7)年 5 月 17日(土) 13:00～17:30 (講演会受付:14:45～15:00)
- 主 催：日本技術士会化学物質管理研究会(MOCS 研)近畿支部； 協力：近畿本部化学部会
共 催：一般社団法人化学物質管理士協会(Pro-MOCS)
- 場 所：近畿本部会議室＋全国ネット中継 (Teams)

- 内 容：
Pro-MOCS 総会 ： 13:00～14:15 (総会後、規約類改正の説明会を含む)

MOCS 研総会 ： 14:30～14:45 (総会後、役員(新任、退任)紹介を含む)

総会記念講演会 ： 15:00～16:45

開会： MOCS 研会長挨拶

演題： 『大学教育の経験から考える化学物質管理の現状と課題』

講師： 芝田 育也 大阪大学環境安全研究管理センター・特任教授

要旨： 大学は少量・多品種の化学物質を取扱う特殊な作業場で、順守すべき多様な法律が存在するために混乱する機会が多いといえます。近年、全国の各大学では化学物質を一元管理するシステムが導入され、リスク情報共有、法対応等がされてきました。また、最近の傾向として、直接被害を受ける消防法危険物、毒劇物に加え、健康被害要因となる有害物質、環境汚染物質への対応が必須になっています。重要なことは化学物質を取扱う各人が、その物質の専門家である意識を持つことです。本講演では大学における化学物質対応の現状、将来像について説明します。

閉会： Pro-MOCS(前)代表理事挨拶 (事務連絡を含む)

- 申込方法：以下の URL より 5/11 までに申し込みください。

<https://forms.gle/HXTmYF6VTYriUgCu6>

払込先：参加費は下記の MOCS 研近畿支部の指定口座に、事前に振込みください。

送金先：三井住友銀行園田支店「日本技術士会近畿本部化学部会」422-5242598

参加費(資料代)：MOCS 研会員、Pro-MOCS(賛助)会員無料

技術士会会員 1,000 円、非会員 2,000 円

会員：日本技術士会会員(近畿本部協賛団体の方は会員扱い、その他は非会員とします)

問合せ先：(当日の緊急連絡用)MOCS 研近畿支部幹事：高岡 直樹 080-4385-6853

以上